

一歩前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

「ありがとう」のことば

皆さんは、誰かに何かをいただいた時や何かをしてもらった時何と言いますか。

そうです。「ありがとう」ですね。では、この「ありがとう」の反対の言葉は何でしょうか。

それは「あたりまえ」です。本当は感謝しなければならないことも、当然すぎて「ありがとう」の言葉を忘れかけている人はいませんか。特に裕福でなんでも手に入る人。あるいは力関係があり、自分の思うがままにあらゆる人に指示できる立場の人は、「あたりまえ」に感じていませんか。

世界にはいろいろな環境の人がいます。今も戦争や貧困で命があれば、それだけでありがたいという人も少なくありません。

かつて日本も戦時中は、食べ物がなく、お芋やそのつるさえもいただいていたということを年輩の方から聞きます。その方々は、「今こうして毎日当たり前にいろいろなものが食べられて本当に幸せ。本当にありがとう。」と話されます。

こんな話を聞くと「毎日ご飯が食べられることに『ありがとう』と思わないのは、全てが『あたりまえ』と知っている」ということになってしまっているのではないかと勘違いしてしまいます。

- ・給食が食べられること
- ・トイレが使えること
- ・布団で寝られること
- ・携帯やスマホが使えること
- ・家族がそばにいること
- ・今、生きていること……

こうしてあげてみると、「あたりまえ」と思ってしまったことは無限にありそうです。

ということは、「ありがとう」も無限にあるということです。

このことを知っていれば、誰かに何かをいただいたり、何かをしてもらったりしなくても、どんな時でも感謝の気持ちをもち続けることが大切です。

人は感謝するとき、手のひらと手のひらを併せることが多いです。この手のひらと手のひらを併せると、何だか幸せな落ち着いた気持ちになりませんか。

「ありがとう」の言葉は、私たちに幸せにしてくれるスーパーワードです。誠実に自然体で発せる人になりたいですね。

